

6年生が伝えてくれたこと

校庭のさくらのつぼみがふくらみ学校横のチューリップもたくさん芽をだしてきました。寒く厳しかった季節に別れを告げているようです。この様子を見ると、いよいよ今年度も終わりになったんだと感じてしまいます。

先日、本校の第55回卒業証書授与式が行われました。この1年間、6年生たちが松波小学校の最高学年の姿を行動で下級生に示してきたように感じます。特に私が6年生から強く感じたのは、「信頼」という言葉です。彼らは1年生から5年生までの後輩から信頼される存在になろうとこの1年間努力してきたように感じました。日々の生活や児童集会、運動会や相撲大会・マラソン大会等の行事で、委員会活動の場で、特に縦割り班のグループ活動では、全ての6年生が模範となるために自主的に行動していました。信頼される人になろうと努力した6年生の姿は、素晴らしい姿でした。一方、5年生は6年生の努力する姿をこの1年間つぶさに見てきました。6年生が醸し出していた信頼感を、今度は自分たちが発揮しなければなりません。卒業式の練習で見せる真剣で緊張した5年生の表情は、先輩たちの心の一端に触れて、何かを感じ取っているかのようでした。

6年生の思いは伝統として1～5年生へと確実に受け継がれました。1～5年生は、この1年間努力してきたことをステップに新しい学年へ進級し、6年生から受け継いだ松波小学校の伝統を繋げていってほしいと思います。



保護者・地域の皆様のご多大なるご理解・ご協力により、1年間、教育活動を進めることができました。ありがとうございました。修了式、卒業式を一つの区切りとして、また一步先へ進みます。新年度も、全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

松波小学校

校長 宮本 秀人